



スマホやゲームは楽しいけれど…

校長 中村 篤

9月28日(水)から1泊2日で6年生の修学旅行に行っていました。2日間とも天候に恵まれ、1日目は華厳の滝や竜頭の滝の見学、中禅寺湖での遊覧船、戰場ヶ原のハイキング、有田焼の絵付け体験、2日目は日光江戸村と日光東照宮の見学など、充実した活動を行うことができました。大きな病気やけが、事故等もなく、全員が無事に帰ってこられたことにホッとしています。そして何よりも素晴らしかったのは、旅行中の子どもたちの態度です。しっかりと時間前行動ができ、様々な場所でのマナーもよかったです。昨年度からずいぶん成長したとの学年の職員の声に、とてもうれしい気持ちになりました。この修学旅行の体験を今後の学習や学校生活に生かしてくれるよう、期待します。保護者の皆様にはいろいろとご協力を頂き、ありがとうございました。



さて、9月27日の埼玉新聞に「小6の約半数 視力 1.0 未満」という見出しの記事がありました。この記事によると、県内の2021年学校保健統計調査では、裸眼視力が1.0未満の小学生の割合は34.4%で、小学6年(11歳)は49.4%となり半数近くが1.0未満だったとのこと。県教育局保健体育課によると、「パソコンやスマホの利用時間の増加が考えられる」としています。

これに関連して、本校6年生のスマホ等の利用時間について、今年4月に実施された全国学力・学習状況調査での質問で明らかになりましたので、回答結果をお知らせします。「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか」という質問には、「4時間以上」が22.2%(全国17.2%)、「3時間以上、4時間より少ない」が15.4%(全国13.5%)でした。また、「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」という質問には「4時間以上」が15.4%(全国10.9%)、「3時間以上、4時間より少ない」が8.5%(全国8.8%)でした。

スマホやゲームに夢中になってしまう気持ちはわからないわけではありませんが、平日に4時間以上の利用はさすがに長すぎです。これでは視力が悪くなるのもうなずけます。また、学習に影響が出てしまうことも考えられます。

また、11月11日の学校保健委員会では、さいたま市教育委員会指導主事 高橋明裕先生を講師としてお招きし、メディアリテラシーについての講演を予定しています。保護者の参加につきましては、本年度も役員の方のみとなりますが、後日講演内容についてご報告したいと考えています。

10月10日は「目の愛護デー」です。目を労わるためには一度スマホやゲーム機から離れることも大切です。空いた時間には、読書をするをお勧めします。もちろん、目を休めながらです。学校でも「朝読書」や「読書月間」等の取組を通して本に接する機会の充実を図ってまいります。秋の夜長、ご家庭でもお子様と一緒に読書をする時間をぜひ設けていただきますよう、ご協力をお願いいたします。